

広報

# ぴっぷ

12

December  
2017  
No.711

## 大河を遡る命のメッセンジャー

日本海石狩湾く比布町まで、その距離180キロ。  
なぜ彼らはこの地に帰ってくるのだろうか。  
海に川に、そして人に。広報ぴっぷがその謎に迫る。  
サケから学ぶまちづくりの原点とは。





# サケが命をつなぐ町

サケは川で生まれる。  
生まれた稚魚は、海へと下る。  
海で大きく成長したサケは、  
やがて子孫を残すために、生まれた川へと帰る。

この比布町でもサケが生まれる。  
そして、この町にもサケは帰ってくる。  
広大な北海道のほぼ中心にして、  
海から遠く離れたこの町にも  
毎年秋になると、サケが帰ってくる。  
自分が生まれたふるさとを目指し、  
命懸けでひたすら川を泳ぎ続けて帰ってくる。  
帰ってきたサケは産卵して子孫を残し、一生を終える。

しかし、この町まで生きて帰ってくる者は、わずか数匹。  
そのほとんどが途中で息絶え、帰ってこない。  
海から近い町なら、もっと楽に子孫を残せるのに――。  
それでも彼らは命を懸けてまで、  
こんなにも遠く離れたふるさとに帰ってくる。

彼らはどこから、どうやって、  
この比布町に帰ってくるのだろう。  
何が彼らをここまで突き動かすのだろう。  
ここに何があるというのだろう――。

## この町に帰ってくる者

サケは北海道民にとっても馴染みのある魚である。食文化を支え、家庭の食卓を彩る魚として、多くの人に親しまれている。また、道内での漁獲量は国内全体の約9割を占めるなど一大産地としても広く知られている。サケは北海道と切っても切り離せない関係である。

「サケがふるさとに帰ってくる」ということはだれもが一度は耳にしたことがあるのではないだろうか。

これは「母川回帰」ともいわれおり、海で成長したサケが産卵して子孫を残すために、自分が生まれたふるさとの川に再び帰ってくるというサケ特有の行動である。秋になると道内沿岸部の河川では、サケがふるさとを目指し、川を遡る（遡上）光景が見られる。

しかし、生きてふるさとに帰るサケはわずか1%しかない。ほとんどのサケは海で他の生き物に食べられたり、帰ってくる途中で、力尽きて死んでしまう。それでも、帰ってきたサケのなんと98%は、ふるさとを間違えないという。

なぜかという、サケは稚魚のころに記憶したふるさとの川の匂いを、成魚になっても忘れず、その匂いをたどって帰ってくるからだといわれている。

この比布町にも、数はとても少ないが、そうしてサケが命を懸けて帰ってきている。

ふるさとの記憶をたどり、再び帰ってきてくれること――。それは例えば相手が魚といえども、その地で生きる私たちにとってはとても誇らしいことである。

彼らはどこから、どうやってこの地を選んで帰ってくるのか。危険を冒してまでふるさとにこだわる理由はどこにあるのか。

## その謎に迫る――。



【取材・編集】  
比布町役場総務企画課  
まちづくり推進室 広報係 藤原 俊彦

特集 大河を遡る 命のメッセンジャー







いざ、海へ。

# 日本海「石狩湾」



この海からふるさとへ

9月16日―。

時刻は明け方。午前5時。

私は比布町を発ってから約3時間。

車で南西に150キロ離れた石狩管内の石狩市厚田区へとやってきた。

広大な日本海「石狩湾」が眼下に広がるこの地域の沿岸には、毎年秋になると、外洋の旅を終え、母川への遡上を控えたサケが数多く押し寄せる。その多くは、この地域を流れる「厚田川」に遡上すると考えられるが、近年の調査で、厚田の沿岸付近を回遊するサケの中に石狩川へ遡上するサケも比較的多いということが明らかになっている。だからこそ、私はこの地に訪れた。この周辺の海を泳ぐサケの中に、間違いなく、比布町に帰るサケがいるに違いない。

たどりついた海の先に

厚田川河口付近の海岸に到着し、海からほど近い駐車場に車を停めて、望遠カメラを片手に急ぎ足で海岸へと向かった。

この日の気温は10度。海が近づくにつれ、冷たい風が吹きつけ、体が震える。100メートルほど歩くと、ようやく海岸へたどり着いた。目の前に広がる青い石狩湾、ここに彼らがいる。ふと周りを見渡すと、波打ち際には、サケを狙うたくさんの釣り人の姿がある。秋の訪れを感じる北海道の風物詩ともいえる光景である。

私も早速、波打ち際まで近寄り、すかさず海を見渡した。しばらく、観察していたが、サケが泳いでいる姿は見えない。それもそのはず、海を泳ぐサケの姿を見られるのは、川

への遡上が本格化し始める10月上旬ごろから。最盛期はまだ先、当然いつでもそこにサケの姿があるわけではない。海面を高く飛び跳ねたり、波打ち際まで泳いで寄ってきたり、目の前には、思い描いた理想とはほど遠い光景が広がっている。



この目で姿を

肝心のサケが見えない今、それでも、会うチャンスはある。海に向かって必死に竿を振り続ける釣り人たちがいるのが何よりの証拠。目には見えないが、目の前の海の中には確実にサケが泳いでいるはず。釣竿を手に取り、この海で生きるサケに会う

潮流がもたらす出会い

午前11時―。

いまだ釣果はなし。次第に日も高くなり、波の動きが鈍くなってきた。潮が引いていく。「干潮」を迎えてしまった。こうなると、サケに会うことが難しくなってくる。なぜかという、海には朝と夕方に潮が満ち引きする。いわゆる「満潮」と「干潮」である。潮が引く「干潮」になると、水深が浅くなってしまふ。魚は深い場所を泳ぐ性質があり、干潮になると魚は海岸から離れてしまふ。私は夕方にもう一度訪れる「満潮」を待つことにした。刻一刻と状況が変わる海でサケに会うことはそう簡単なことではないのである。



浅瀬を漂う変わり果てたサケの姿



海鳥に食べられるサケの死骸



見るも無残な姿に心が痛む



その光景は海の厳しさを物語っている

やってここから遥か遠くの比布町まで帰るのが一層疑問に思えてくる。

待望の瞬間

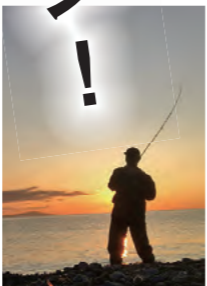
午後4時―。



海に着いてから実に約10時間が経過。いまだサケには出会えず、再び満潮の時刻を迎える。これが彼らに出会える最後のチャンス。わずかな可能性に懸け、ただひたすら波の奥に向かって竿を振り続ける。無情にも時間だけが過ぎていく。夕方の満潮時刻に合わせて海岸に集まった十数人の釣り人たちが釣果がないのか、

納竿し、少しずつ帰宅し始める。石狩湾を照らす夕焼けだけが美しい。次第に満ちてきた潮も引き始めてきた。潮時とはまさにこのこと。そうあきらめかけた時だった―。

## ガン!



突如、握っていた竿がずっしりと重くなった。まさかと思い、慌てて竿先に目を向けると、大きな弧を描いている。間もなく、釣り糸が海中に向かって勢いよく引き込まれていく。バタバタと大きなヒレを海面に叩きつけながら、必死に抵抗を見せる大きな魚影。「サケだ!」千載一遇のチャンスに、私も負けじと糸をたぐり寄せる。波打ち際に寄ってくる。最後まで激しい抵抗を見せるサケ。格闘の末、ようやく、サケを陸に引き上げること成功し、戦いに終止符が打たれる。

浅瀬に横たわるサケ。思わず竿を投げ捨て、喜びに震える手でカメラを構える。



サケの墓場

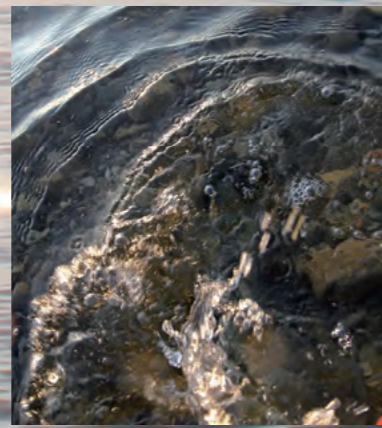


夕方の満潮が訪れるまで、海岸を散歩することにした。静かな海を見渡しながら、とぼとぼと歩く。途中、



# これが、

# 比布町へと帰ってくる 石狩湾のサケの姿。



最後は勢いよく海の彼方へと姿を消した



無事に海に戻り、ほっとするサケ



波打ち際に戻すと真っ先に沖へと向かう



体も大きく育ち、顔つきも実に勇ましい

ありがとう。  
比布町でまた会おう。



日没を迎えた石狩湾が見せる幻想的な風景

サケと出会った満潮時刻から1時間が経った。潮が引き始め、波が静まり、再び穏やかな世界へと姿を変えていく石狩湾。海の中では過酷な生き残り競争が繰り広げられている。比布町で生まれたサケにとって生まれて初めて泳いだ海にして、生涯最後に泳ぐ海「石狩湾」。サケたちにとっては「第2のふるさと」かもしれない。しかし、この海は数年にも及ぶ長旅を終えた彼らを優しく出迎えるわけではない。この海は最後まで彼らに過酷な試練を与え、多くのサケの命を奪っていく。彼らは広く、厳しい世界で力強く生きていくのだと知る。最後に、かけがえない出合いをプレゼントしてくれたサケと石狩湾に感謝を告げ水平線に沈む夕日を背に、私は海を後にした。

午後5時！

美しく過酷な海



これが石狩湾を泳ぐサケの姿。体長は65センチ。体重は約3キロ。少し小ぶりだが、立派なメスのサケである。待ち焦がれたサケを前に、喜びと感動がこみ上げる。銀白色の体が、実に美しい。夕日を浴びて、鏡のように光輝いている。サケは遡上が近づくにつれ、産卵できる体へと肉体を成熟させていく。銀色の体は次第に茶褐色へと変わり、体の表面に黒や赤の模様が現れる。これは「婚姻色」ともいわれ、産卵を控えたサケに見られる大きな特徴なのだが、この光り輝く魚体の様子から見て、外洋から石狩湾に戻ってきてから、まだ日は浅い。どこで生まれ育ったのは定かではないが、比布町を目指して石狩川に遡上するかもしれない。そして、このサケは腹にたくさんのお卵という命を抱えている。そう考えると、釣り上げた手前、少し申し訳ない気持ちとともに、同時に強い愛情が込み上げる。このサケは無事にふるさとに生きて帰れるだろうか。それとも浜辺で倒れていたサケのように、どこかで死んでしまふのだろうか。さて、名残り惜しいが、未来の新しい命のため再び海に帰す。波打ちで尾から手を離すと、サケは水しぶきを上げながら、石狩湾の彼方へと去っていった。

石狩湾の女神







# 海から下流へ

～最後の旅の始まり～

どうやら、今年は日本海に例年よりも、たくさんサケが帰ってきたようだ。あの石狩湾も日本海に属する海。今ごろ、石狩川の河口や下流には、たくさんサケたちが帰ってきているに違いない。

一体どれほどの数のサケが帰郷の途に就いているのか。石狩湾で出会ったあのサケは無事に生きて川に遡上しているだろうか。なんとかサケが一斉に遡上する瞬間を見てみたい…。そう悩んでいた時、一本の連絡が入る。

「ある川にサケの大群が帰ってきている」。教えられた現地へと向かった。

## ふるさとへ出発

10月上旬。

石狩湾でサケと出会ってからも3週間が経とうとしている。毎年この時期を迎えると、道内ではサケの遡上が本格化し、各地の河口や川の下流で、サケが大きな群れをなして遡上する光景が見られる。また、今年は北海道の日本海沿岸で秋サケが大豊漁で、前年の4割増の水揚げを記録するなど、近年稀に見ぬ活況ぶりに、漁協をはじめ、テレビや新聞も大きくにぎわっている。



# 下流から中流へ

～比布町までの旅路～

## 立ちはだかる壁

ところで、彼らが帰ってくる道の途中には何かあるのだろうか。

そう思った私は、石狩川の河口から約120キロ遡った中流域にやってきた。ここは、空知管内の深川市。比布町を目指すサケにとって、この町は全体の3分の2ほどの距離。旅も中盤を過ぎたところである。この辺りの川の流れは、急流というような場所は見られず、ここを泳ぎ切れば、ふるさとも見えてくる。いざ海から川に入ってしまったら、ふる

10月9日。

## ふるさとを目指す大群

私がやってきたのは、留萌管内の増毛町である。石狩川の河口から、約90キロ北に離れているが、同じく日本海沿岸の町である。

この増毛町を流れる「暑寒別川」は石狩川同様に日本海沿岸でも有数のサケの遡上数を誇る河川だが、石狩川と比較すると、川幅や水深などの規模が小さいため、川辺でサケの遡上を間近に見ることができる。この日も貴重な遡上風景を見に、見物

さまでの旅路は想像よりも楽なのかもしれない。そう思いながら、河川敷を散策していると、思わぬものが目に飛び込んできた。

石狩川の広い川幅を横断するよう突如現れたコンクリートの巨大な要塞。大地を揺るがすほどのごう音を響かせながら、膨大な量の水が滝のごとく激しく落下している。明らかに人工物である。

これは一体なんだろう！。



激しく流れ落ちる水



石狩川中流域にある「旧花園頭首工」

これは旧花園頭首工。昭和39年に設置された、農業用水路に水を引き入れるための取水ダムだった。

昭和62年に、これよりさらに上流部に別の取水ダムができたことで、その役割を終えているが、その大きさは今もなお、圧倒的な存在感を示している。この高い段差と落下する激流の勢いは実に凄まじく、いくら遊泳力と跳躍力に優れたサケといえども、これを越えるのは非常に難しいだろう。ここに至るまで、流れに逆

客が多く訪れていた。

河口から200メートルほど離れた下流域。早速、川辺に下りて川を見渡す。そこには想像を遥かに超える光景が広がっていた。川を埋め尽くすほどのサケの大群。ダイナミックな世界に思わず圧倒される。急流に流されまいと、一心不乱に上流を目指し、一斉に泳ぐサケの姿。まるで何かにとり憑かれているかのようだ。



下流の浅瀬を遡上するサケの群れ



必死に泳ぎ続けるメスのサケ



流されていく弱ったサケたち

らって120キロも泳いでいることを考えると、残り少ない体力で挑むには、あまりに過酷な試練である。ここでは、先に進めず、みんなここで力尽きてしまおうだろう。

しかし、実際にサケはこのダムよりはるか上流にある比布町に帰ってきている。彼らはこの巨大な要塞を一体どうやって越えているのだろうか。

## ふるさとへの架け橋

彼らはなぜここを越えられるのか。その秘密はダムの中のある構造に隠されていた。よく見ると、川の両端になにやら細い道のようなものがある。道はなだらかな傾斜が付いている。水流も周囲と比べて少し落ち着いており、さらに段差の上へとつながっている。そう、サケたちは、この道を泳いでいるのだ。



川の両端に設置されたサケのための魚道



遡上中に浅瀬に乗り上げて力尽きたオスのサケ

## 自然の脅威

サケの遡上風景は、サケのたくましい姿だけでなく、自然環境が与える影響も物語っている。

暑寒別川でこれほど大規模なサケの遡上が見られるのは、過去に遡っても例がない。今年、多くのサケが川に遡上した理由として、稚魚が海に出たころ、日本海沿岸が対馬海流によって成育に適した海水温が保たれたことで、サケが大きく育ち、その結果、生存数を高めたのではないかと考察されており、日本海沿岸に注ぐ暑寒別川で生まれたサケも、その影響を大きく受けたと見られる。

一方で、オホーツク海や太平洋沿岸では、遡上数をはじめ、漁獲量が前年を大きく下回っており、日本海側とは全く逆の現象が起きた。

サケが生きて帰るには、こうした自然の恩恵も味方につけなければならぬのである。

これは「魚道」といわれる川を遡上するためのサケ専用の通路。このような大きなダムでは、サケが遡上しやすいように川の端にこうした魚道が設けられていることが多い。見た目は地味だが、この魚道の存在はサケたちにとって大きく、まさに「ふるさとへの架け橋」といえる。

事実、この頭首工の完成以来、サケがダムを飛び越えられずに力尽きて死んでしまい、この上流部の地域では、サケがばったりと姿を消してしまった。当時は、比布町もその影響を受け、サケが全く見られなくなったという。しかし、自然保護を訴え、「石狩川を再びサケのふるさとに」と、多くの人が立ち上がったことで、この魚道の整備が進められ、平成2年に完成。以来、石狩川に再びサケの姿が見られるようになったという。だが、中には、この魚道の存在に気づかず飛び続け、力尽きて死んでしまうものもある。自然だけではなく、時には人間がつくったものが、脅威となつて彼らに立ちはだかることもあるのだ。



頭首工の大きさに圧倒される筆者



ついに、ふるさと

# 比布町へー。



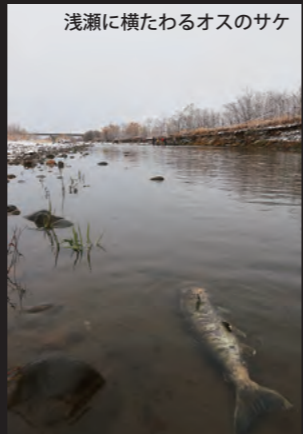
比布町を流れる石狩川の浅瀬。奥に見える橋が「栄園橋」



あさひかわサケの会 代表 寺島一男さん



水面に広がる怪しい波紋



浅瀬に横たわるオスのサケ



必死に呼吸を続けるサケ。



弱ったサケを優しくを抱きかかえる 桐一郎さん

## 帰郷の時

サケが遡上し始めてから、ひと月が経とうとしている。遡上したサケが一日に泳ぐ川の距離は約5キロといわれており、180キロ離れた比布町までは、単純計算で36日。無事に生きてさえいれば、もうこの町に帰ってきていてもおかしくない。

11月5日。

この日は、旭川市を拠点にサケの保護活動を行う「あさひかわサケの会」の遡上調査に同行した。よりサケの生態を深く知る同会の人物からなにか大きなヒントを得られると思ったからである。

訪れたのは、比布町の石狩川に架かる「栄園橋」。付近の川の流れは、大きく太い本流が支流のように細く枝分かれし、緩やかで水深も浅い。毎年、この時期になると数はごくわずかだが、この細い川の浅瀬にサケが産卵しに帰ってくるらしい。午前9時。

現地に集合した「あさひかわサケの会」のスタッフとともに、川の中を漕ぎ歩いてサケが帰ってきているであろう浅瀬へと向かう。

気温は2度。前日に降った雪が川辺にうっすらと積もり、晩秋の北海道ならではの景色が広がっている。川は静けさに包まれ、ただ私たちが

## 力尽きたサケ

体は白く腐食して、尾も傷だらけ。かろうじて息はあるものの、過酷な長旅と産卵を終え、もう体がいうことをきかないのだろう。近寄ってカメラを構えると、私の気配を察したのだらうか、突然、口をパクパクと動かし始めた。薄れゆく意識の中でも、あきらめず、最期まで懸命に生き抜こうとするサケの姿に、心を打たれる。旅の壮絶さを物語る痛々しい体の傷。だがそれも、ここまで全ての環境と試練に打ち勝ち、この町へ帰ってきたという勳章にさえ見えてくる。改めて、サケが持つ計り知れない強さを目の当たりにし、彼らに対して畏敬の念すら抱かされる。

「今年もよく帰ってきたなあ」

そんなサケを目の前に、安堵の表情を浮かべるのは桐一郎さん。比布町で生まれ育ち、幼いころからこの川に帰ってくるサケを見守り続けてきた桐さんは、御年78歳。あさひかわサケの会に所属するベテランガイドで、年に20回以上もこの川を訪れ、川の整備作業や遡上調査に汗を流している。

「毎年、秋になると、ちゃんと帰ってくるのか心配で心配でたまらないよ(笑)」。これまで道内各地で、サケの放流や現地調査、保護活動に努めて

水の中を歩く音だけが響いている。浅瀬が近づき、サケが泳いでいないか、水面の動きに注意しながら歩く。

ふと、私の30メートルほど前方で、かすかに水面が揺れたのが見えた。川底を走って追いかける。すると、そこには悠然と泳ぐサケの姿があった。今年も、サケが生きてこの地まで帰ってきた。あまりの感動に思わず大声が出てしまった。

「サケ、帰ってきたー」  
そんな私の興奮に驚いたのか、大きな水しぶきを立てて逃げていくサケ。今度はゆっくり慎重な足取りで追い、浅瀬のさらに奥へと進んでいく。すると、目の前に1匹のサケが横たわっていた。



勢いよく泳いで逃げるサケ。サケは全部で3匹確認できた

きた桐さんだが、やはり自身のふるさともあるこの町に帰ってくるサケには特別な思いがある。  
「大したもんだよ。『苦労さん』。横たわるサケの体をなでながら、優しくねぎらいの言葉をかける桐さん。今にも息絶えそうなサケも、この時ばかりは、心なしか安心したような顔をしているように見えるのは私だけだろうか。また、それは帰郷したわが子と父親が言葉を交わしているような心温まる光景だった。



比布町在住の桐一郎さん

「良いものを見せてあげよう」  
桐さんはサケを優しく川の中に寝かせると、川の奥へと歩いていく。私もそれに続き、急いで後を追う。この先に何かあるようだ。



どこへ向かうのか…



# なぜ、この町に帰ってくるのか。



産卵床のそばから出る小さな湧き水



桐さんが昨年発見したサケの稚魚の死骸。土砂で産卵床が生き埋めになったことが原因である

## 川底に眠る命

桐さんは、サケが倒れていた場所から50メートルほど進むと歩みを止め、川の中を指差した。近寄って見ると、なにやら川底に小石が積もっている。サケが産卵した「産卵床」だった。まるで人間が作ったのではなにかと思うほど、川底にきれいに集められた石。どうやら産んだ卵を覆い隠したらしい。浅瀬で倒れていたサケが産卵した後かもしれない。



水中カメラで見たサケの産卵床

「ここは特別な場所。きれいな湧き水があるんだ」と桐さん。サケの卵の生育には、「湧き水」の存在が必要不可欠だという。確かに、私が見た産卵床の付近にだけ、かすかに水が湧き出ている。湧き水は、水質も良く、一年を通して水温が安定しているた

め、デリケートな卵の育成にはなくてはならない存在なのである。サケはどれだけ体が傷ついて弱ろうとも、そのかすかな湧き水を確実に探し当てる。しかも、この産卵床の場所はかつて自分が生まれた産卵床とほとんど同じ位置にあり、その距離は数メートルも離れないのだという。彼らの潜在能力の高さには、驚かされるばかりである。

だが、卵を産み終わっても安心はできない。他の魚に卵が食べられてしまったり、大雨などで上流から土砂や濁流などが押し寄せると、卵は生き埋めになり、死んでしまうことも多いのだという。この世界は最後の最後まで、彼らに大きく立ちまわると、自分の産卵床のそばで卵を見守り続けるが、ほどなくして力尽きる。卵が孵化するのは、その約2か月後。「親は子どもの成長を確かめずして、死んでしまう。悲しいけれども、他

にはない感動がある」と桐さん。産卵を終えたサケが力尽きていく瞬間に立ち会った見物客の中には、涙を流す人もいるそうだ。数え切れないほどの死線をくぐり抜けて帰郷し、産んだ卵の成長を見ずして息絶えるサケ。儂くも美しい命のパトン。それでも、最期まで力強く生き抜くその姿に、体が震えるような感動を覚える。



## ふるさと比布に帰る理由

産卵床の観察を終えると、同会のスタッフたちが、川底を掘ったり、小石を集めたりと、なにやら作業を始めだした。産卵床作りである。この後、帰ってくるサケが産卵しやすいように、きれいに川底を整えているのである。

「きれいな川にして待っていれば、帰ってきてくれる。サケの数は年によって差はあるけれど、帰ってきた姿や産卵床が見えると、本当にうれしいよ。」  
こうして、再び比布に帰ってくれようとして、桐さんたちは日々、活動に情熱を注いでいる。もし故郷の川底が荒れ果ててしまったら、いくら生まれた場所に帰るサケといえど、おそらく帰ってこないだろう。そうなるかもしれないと、サケは迷ったり、他の場所へと去ってしまう。だが、この地には美しい川底と湧き水に加え、彼らを包みこむほどの優しさがあふれている。そんなふるさとで温かく迎えてくれる桐さんたちに、帰ってきたサケも、生まれ育ったサケも、きつと感謝しているに違いない。無事に帰ることこそが、彼らの恩返しでもあるのだろう。これが、彼らが遠く離れたこの町に帰ってくる理由だと私は確信している。

# サケは「若者」。

## サケから学ぶまちづくり



この取材を通して気づかされたこと。それは、サケは「若者」とよく似ているということである。

## 忘れられない思い出

大海原へと飛び出し、大きく成長してふるさとの川へと帰ってくるサケ。それはまるで、大都会へと旅立ち、社会の荒波に揉まれ、たくましくなつて地元へと帰ってくる「若者」のようだ。背景もよく似ている。

海へと下るも、厳しい自然と環境の変化によって、帰郷数が減り続けているサケの世界。就学・就職で都市部へ旅立ったきり、地元へUターンする者が減り続けている地方社会。どちらも出て行ったほとんどの者は再び帰ってくることはない。未来を担う者たちに再び帰ってきてほしい。魚と人、生きる世界はまるで違えど、どちらもその思いは全く同じである。

そんな中、サケは私たちに見せてくれた。

大都会のような「海」から、この遠く離れたふるさと比布町に帰ってきた。「産卵」という夢をかなえるなら、都市近郊のように海から近い川へと行く方が、ずっと楽だったはずなのに、彼らはこの町の美しさと温もりに引かれ、ここまで帰ってきた。

若者が帰ってくる理由もそれと同じなのではないだろうか。

子どものころに感じた、包み込まれるような、ふるさとの美しさと温もり。それを彼らが忘れていなければ、いや、忘れさせなければ、どんなに遠い都会へ旅立っても、きつと帰ってきてくれるだろう。

そうして、ふるさとに魅了されて帰ってくる若者を一人でも増やすために、私たちができること。それは、桐さんたちが心を込めて川底を整え、サケに忘れられえない美しいふるさとを作ったように、私

たちは今を生きる子どもたちに、この町で忘れられない思い出の場を作ってあげることである。では、どうすれば、子どもたちにそんな「思い出」を作ることができるのか……  
そこで大切なのは、「この町ならではの魅力」である。それを体いっばいに感じてもらうことが一番なのではないだろうか。比布町の魅力といえば、なんといっても「自然と人」、さらにその調和が生み出す温かさにある。子どもたちには、それをもっと味わってもらえば良いのだ。

今、比布町では、町教委などが中心となって体験事業を行い、子どもたちに四季折々の自然の魅力や生き物の尊さを伝える場を提供している。そうした体験の場をより充実させていくことが、将来の若者が帰ってくることに繋がっていくのである。



そして、それを充実させるためには、この町の「人」の存在が不可欠である。この町の自然をよく知るみなさんがそれを言葉で子どもたちに伝え、自然だけでなく、人と触れ合うことが最も大切なのだと思う。そ

して、それが子どもたちにとって、美しさと温もりあふれる忘れられない思い出へとつながっていくのである。



「川」の思い出。それはふるさとの「思い出」のことなのかもしれない

刺激を求めて広い世界に漕ぎ出そうとする若者を止めることは難しい。しかし、大海を悠然と泳いだ後、ふるさとへと帰ってくるサケのように、広い世界を見渡してきた若者たちが帰ってくる「忘れられない町」の姿。

サケは、その命と行動で、この町で生きる私たちに、そんな明るい未来へ向けたまちづくりの原点を教えつけているのかもしれない。



大河を渡る命のメッセンジャー



スタンプを集めて  
豪華賞品を  
もらっちゃおう!

12月1日▶▶▶平成30年1月31日

# びっぷスタンプラリー 2017冬



- 実施期間 12月1日(金)~平成30年1月31日(木)
- スタンプ・台紙設置場所  
びっぷスキー場、図書館、比布駅、遊湯びっぷ、紙風船、びっぷりん
- 応募箱設置場所  
図書館、比布駅、遊湯びっぷに設置しています。
- 応募方法

①実施期間中にスタンプラリー台紙に各施設にあるスタンプをそれぞれ5個集め、住所、氏名等を記入の上、応募してください。

②応募は1人1枚に限ります。

※各施設のスタンプがなければ応募できません。

■賞品

- ・たまごかけごはんセット 1名



- ・遊湯びっぷ食事券付き入浴券 2名
  - ・比布産ゆめぴりか5kg 2名
  - ・きしがみジンギスカン1kg 2名
  - ・びっぷりん(6個入) 2名
  - ・びっぷスキー場招待券(10回券) 5名
  - ・ピピカフェ比布駅ドリンク1杯無料券 5名
- 抽選により当選者を決定し、発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



■応募締切 平成30年1月31日(水)までに投函したものに限りま。

■個人情報の取り扱いについて 応募者の個人情報は、賞品の発送のためのみ使用します。

■問い合わせ 役場産業振興課観光係 ☎85-4806

## 50th びっぷスキー場イベント情報

みなさまのご来場をお待ちしています!

営業時間 9時00分-16時00分  
ナイター 16時00分-21時00分  
12月中旬~2月28日(12/31を除く)  
サンセット 16時00分-18時00分  
3月クローズ日を除く土日祝日



50周年特別企画!  
ファミリーバック  
デラックス  
12/23~1/14

1日券[入浴なし]  
を大人3,500円で購  
入すると、世帯をと  
もにする小学生以下  
全員に無料で1日券  
を発売!

くじ引きで  
運だめし!  
1/13~1/14

リフト券購入前にく  
じを引き、運が良け  
れば特別券が当たり  
ます。くじが無くな  
り次第終了となりま  
す。

豪華景品盛りだくさん!  
感謝デー抽選会  
12月-3月・全4回

12/24 プチクリスマ  
スプレゼントまき!  
1/1 餅まき!  
2/10 50周年特別イ  
ベント!  
3/3 プチあられまき!

3月の夕方は  
サンセット営業  
3月土日祝日

土日祝日16時~18  
時は大人も子ども  
も300円で第2リフト  
乗り放題。(3/3・4・  
10・11・17・18・  
21・24)

ありがとう  
サービスデー  
3月25日(日)

大人も子どもも  
1,500円でリフト乗  
り放題!さらに、遊  
湯びっぷ入浴券が  
セットに。  
(16時営業終了)

【大雪山絵画グランプリ受賞者】

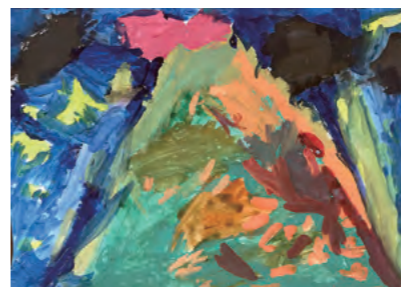
- 大賞 三浦 琉那さん(中央小4年)
- 特別賞 梅澤 満喜さん(年長)  
野内 陸来さん(年長)
- 入選 牧 由貴花さん(中学校1年)  
古川 璃乃さん(中央小6年)  
勝見 颯斗さん(中央小5年)  
野内 海成さん(中央小3年)  
大島こなつさん(年長)



大賞: 三浦琉那さん



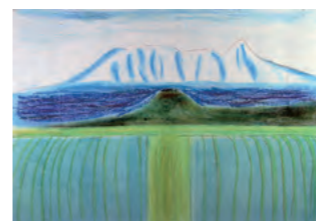
特別賞: 梅澤満喜さん



特別賞: 野内陸来さん



入選: 大島こなつさん



入選: 牧由貴花さん



入選: 古川璃乃さん



入選: 勝見颯斗さん



入選: 野内海成さん



町内から見える大雪山連峰のある風景をテーマに「大雪山絵画グランプリ」が開催されました。町では昨年度から「世界一大雪山がきれいにみえるまち」として、大雪山の景観の美しさを町内外にPRしています。

本絵画グランプリは、その一環として、子どもたちに「世界一」の意識を広めるため、18歳以下を対象に企画しました。

10月6日に審査を行い、町内在住のイラストレーター・高野美奈さんをはじめ4人の審査員により、応募のあった63作品の中から大賞1点、特別賞2点、入選5点の計8点が選ばれました。

表彰式は10月29日、町民文化祭芸能発表に合わせ行われ、受賞した子どもたちに賞状が手渡されると、会場から大きな拍手が送られました。





先月号では地震が起きたときの対処法について学んだね？  
まずは身の安全を確保すること。そして、被害の拡大を防ぐことが大切だったね！ 出火したときには、直ちに**初期消火**をしよう！ さて、先月号に続いて、今月号でも地震について勉強しよう。地震はいつ、どこで起こるか分からない。もしかすると、**外出先**で起こるかもしれないよね？ そんな時でも身の安全を確保できるよう、シーン別に対応策を確認しておこう。

■問い合わせ  
役場総務企画課生活安全係  
☎85-4801



## もしも、こんなところで地震が起こったら。

- 1. 斜面やがけの近くで...**  
土砂災害の危険があります。すぐに離れましょう。余震や大雨に土砂災害の危険が高まる場合があります。
- 2. 海岸付近で...**  
強い振動や長い揺れを感じたり、津波注意報・警報や避難勧告・指示が発令されたときには、直ちに避難場所や高台に避難する。
- 3. 車を運転中に...**  
ハザードランプを点灯して道路左側に停車。車はできるだけ道路外に置いて逃げる。やむを得ず道路におく場合はキーをつけたままにし、ドアはロックしない。車検証などは持っていく。
- 4. 列車やバスで...**  
座っているときは低い姿勢をとり、手荷物などで頭を保護。立っているときはすり革や手すりをしっかりつかまる。車両が停止しても勝手に降車せず、乗務員の指示に従う。
- 5. エレベーターで...**  
全ての階のボタンを押し、停止した階で安全を確認して降りる。閉じ込められたらインターホンで連絡し、救助を待つ。



### 防災一口メモ

～災害とデマ情報とSNS～

近年、災害時にデマ情報や不確実なうわさがSNS上で拡散する事例が増えています。混乱を招かないために次の3つに気をつけよう。  
①複数のメディアから情報を入手しよう。  
②デマ情報のパターンを知ろう。  
③SNSで安易に拡散（シェア、リツイート）しないようにしましょう。



動物園でライオンが脱走？大変だ。リツイートしなくちゃ！

※拡散性の高いSNSでは、誤った情報でも爆発的に拡散され、混乱を招く恐れがあります。デマ情報を見抜いて、安易に拡散しないように気をつけましょう。

## 子どもの広場 12月の行事予定

### \*子どもの広場\*

#### ■開催日■

月・水・金曜日：午前9時～正午・午後1時～3時  
火・木曜日：午前9時～正午

■内容■ 入園前の親子を対象に、遊びや育児に関する情報提供や保護者同士の交流の場として開催しています。予約は不要です。

### \*子育て相談\*

■開催日■ 子どもの広場開催中（随時）

■内容■ 保育士による子育て相談を行います。必要に応じて、保健師や栄養士も対応します。事前に予約が必要です。※町民カレンダーに掲載しています。

### \*今月の行事\*

- 12月15日(金)「へき画せいさく」[クリスマスの飾りつけ]
- 12月22日(金) 午前11時～正午「クリスマス会」
- 問い合わせ■保健センター ☎85-2555

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 0歳児教室	7	8 リズムあそび	9
10	11	12	13 1歳児教室	14 お休み	15 へき画せいさく飾りつけ	16
17	18	19	20 2歳児教室	21	22 クリスマス会	23 天皇誕生日
24	25	26	27	28	29 お休み	30
31						

子どもの広場開催時間  
■午前9時～正午、午後1時～3時  
■午前9時～正午

# 除排雪作業に みなさんのご協力を



町では、みなさんの日常生活に支障をきたさないように、今年も全力で除雪作業に努めます。また、みなさんの協力を得ながら排雪作業も進めますので、ご理解をお願いします。

### 除雪体制と除雪基準

町道の除雪作業は除雪トラック4台、除雪ドーザー2台、歩道用小型ロータリー車1台で行います。

これらの除雪車はおおむね10センチの降雪があった場合に出勤します。この程度の雪が積もると自動車が走りにくくなり、交通障害の原因となるためです。

なお、一部の路線は民間委託での作業となります。

### 除雪作業にご協力を

除雪作業は通勤や通学の時間帯前に完了することを目標としています。

なお、吹雪などにより作業が遅れることもありますので、ご理解ください。また、除雪作業を円滑に進

めるため、次の点に注意し、ご協力をお願いします。

#### ◆路上駐車は迷惑です

路上に放置された車があると、除雪車が通れないことがあります。そのため除雪が後回しになったり、できない場合もあります。路上駐車をしないようご協力ください。

#### ◆道路に雪を捨てないで

せっかく除雪した道路に、雪を押し出している人を見かけます。道路へ出した雪は、交通事故の原因や通行のさまたげになります。

雪は敷地内で処理するか、雪捨て場へ運んでください。

#### ◆支障物を置かないで

道路に除雪のさまたげになるものを置くと、除雪車はね飛ばすことがありますので、危険です。

### 雪捨て場位置図



また、狭い道路や交差点に面している塀や樹木などは、雪が積もると識別できなくなり、誤って接触する場合がありますので、分かりやすい目印を付けてください。

#### ◆ごみ出しは除雪の後に

ごみは、収集日に除雪車が通過した後、指定された場所に出すよう、ご協力ください。

### 問い合わせ

- 〔町道〕役場建設課維持係 ☎85-4807
- 〔道路〕旭川建設管理部事業課 ☎26-4461
- 〔国道〕旭川開発建設部旭川道路事務所 ☎61-0136

## 健康生活

### 急性胃炎



胃炎とは、胃の粘膜が炎症を起こしている病気で、胃がんや十二指腸潰瘍とともに「胃の三大疾病」ともいわれています。

### ■症状

急性胃炎は簡単にいえば、急に胃に起きた粘膜のただれのことです。胃の粘膜は、胃の最も内側にある粘膜で、胃酸から胃壁を守るための役割があります。何らかの原因でこの粘膜が弱まったり、もしくは胃酸の攻撃力が強くなりすぎた時などに胃炎が発生します。

症状は、突然発症するのが特徴です。原因となるものによっては、数時間から数日で症状が起きます。みぞおちの痛み、吐き気、腹痛、嘔吐などの激しい症状に襲われます。重症になると、血便や吐血を伴う場合もあります。

### ■原因

胃酸は、食べた物を消化する手助けをしてくれませんが、胃酸過多になってしまうと自分の胃の粘膜まで溶かしてしまいます。通常は、胃の粘膜にある胃酸から防御機能と胃酸の適切な分泌量によってバランスが保たれています。これが何らかの原因で崩れてしまうと急性胃炎を引き起こします。

主な原因としては次のものが挙げられます。

- ▼非ステロイド抗炎症薬や、抗がん剤などの使用
- ▼精神的なストレス
- ▼食事での刺激物の摂取やアルコール
- ▼寄生虫や細菌が原因のもの

発症した後の暴飲暴食は、胃酸過多になるのでやめましょう。特にアルコールは炎症を起こす原因になるので禁酒が望ましいです。

胃酸の分泌を抑えて、攻撃力を弱くしてしまう薬や、胃壁の防御を強くするために胃粘膜の防御機能を増強する薬などを用いて治療します。

町立びつぶクリニック  
院長 加藤一哉



# ぶっくんノート [12月号]

□開館時間 午前10時～午後6時 □休館日 毎週月曜日(祝日の場合は次の日)4日、11日、18日、25日  
□館内整理日 27日(水) □年末年始の休館 12月31日(日)～平成30年1月5日(金)

12月  
**9(土)** としょかんクリスマス会  
午前10:30～正午(予定) 人形劇・工作

**15(金)** ぶっくん☆シアター(映画上映会)  
午前10:00～  
参加は無料で、申し込みは不要!  
[杉原千畝]

激動の第二次世界大戦下、日本政府に背き、命のバザを発行し続けた外交官・杉原千畝。6千人にのぼるユダヤ難民を救った男の真実の物語。

主演：唐沢寿明、小雪ほか  
2015(平成27年)公開。139分。

## 年末年始のお知らせ

12月31日(日)～1月5日(金)の6日間は、年末年始のため、図書館をお休みします。本を返すときは、入り口にある返却ポストに入れてください。



人形劇「幸福な王子」や工作など楽しい催しを企画しています。

最後に、サンタさんからのプレゼントもありますよ。事前申し込みはいりません。お気軽にお越しください。



## おすすめ 新着図書

**2** 世界最強のブランドはいかにして生まれたか？  
創業者が自ら語る、ナイキの創業秘話

「SHOE DOG 靴にすべてを。」  
フィル・ナイト/著 大田黒奉之/訳

1980年12月2日、ナイキは22ドルの価格設定で上場を果たした。同じ年、同じ22ドルの価格で、新興企業のアップルも上場を果たした。激動の20年を熱狂して走り抜けたフィル・ナイトは、いま、何を思うのか。彼が若い人たちに伝えたいこととは一。

**3** 声を出したり 絵さがしをしたり  
小さな子どもたちも参加しながら楽しめる 光るクリスマス絵本。

「メリーメリークリスマス！」  
岡村志満子/作

今日はクリスマスイブ。4人の子どもたちが、「クリスマス おたすけたい」に変身し、クリスマスの準備をお手伝い。もみの木をかざりつけたり、ケーキをおしゃれにしたり、イルミネーションをつけたり。最後にブーツさがしをお手伝いしたおじいさんは、なんと…?



《急いでいる人》



《飲酒をした人》



《両手に荷物を持っている人》

こんな人は特に **注意!**

- ① 小さな歩幅で、靴の裏全体をつけて歩く。
- ② 時間に余裕をもって、あせらずゆっくりと歩く。
- ③ 歩き始めと歩行速度を変えたときが要注意。

## 冬の歩き方のポイント

冬のツルツル路面では、滑って転倒し、骨折などのけがをする人が急増します。特に、夏の乾いた道の歩き方をすると、転倒しやすいので、注意が必要です。

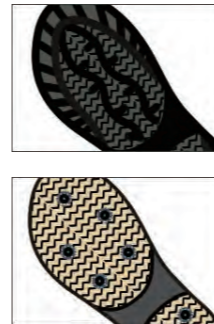
# 冬道の「転倒」に気を付けて!



## 靴・補助器具について

### 靴の選び方は 靴底のポイント

ツルツル路面にはピン・金具付きや深い溝のある靴底がおすすです。しかし、登山靴のようなゴムの堅いものは、ツルツル路面には不向きです。靴底のゴムは柔らかい方が路面への接着があります。ゴムは劣化・消耗しますので、こまめに確認してください。また、雪深い道では、溝に雪が入ってしまします。路面に合わせて靴を履き替えると、より快適に冬道を歩くことができます。



みんな楽しく歌いましょう!

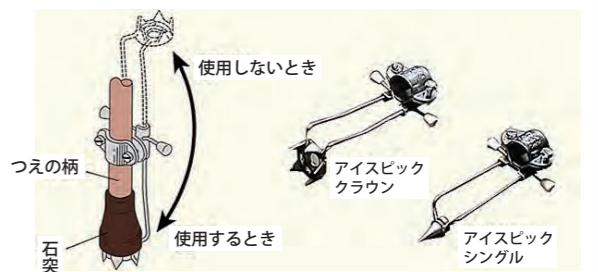
菅野 龍雄さん

菅野音楽事務所(自営)・音楽指導者

特技はもちろん合唱指導です!音楽を通じて人と接することが大好きです。みんなで一緒に歌って、明るく楽しい町を作りましょう!

今月の介懐  
1ヶ月×1ヶ月

杖を使うときには すべり防止のため、冬道では杖にアイスピックをつけましょう。アイスピックは、大きく2種類あります。杖やアイスピックの選び方・購入は地域包括支援センターにお問い合わせください。



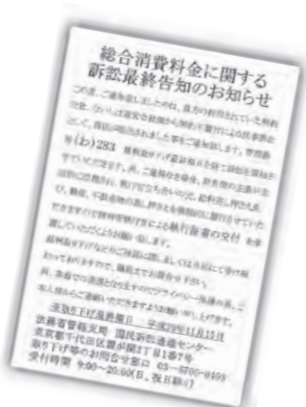
町地域包括支援センター  
(役場保健福祉課内) ☎85・2112 (直通)



「国民訴訟通達センター」は詐欺！

法務省をかたる  
架空請求ハガキに注意！！

◆問い合わせ◆役場産業振興課商工労働係 ☎85-4806



◆◆事例◆◆

今年5月以降、「少額消費料金未納に関する訴訟最終告知のお知らせ」、「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」などと題し、「民事訴訟の取り下げの相談にのる」などと書かれたハガキが送付されているとの情報が法務省に多数寄せられており、今般、実際に被害が発生したことが確認されました。

差出人は、「法務省管轄支局 国民訴訟通達センター」、「法務省管轄支局 民事訴訟管理センター」、「法務省管轄支局 訴訟管理事務局センター」などと記載されていますが、これらの団体と法務省とは一切関係がありません。

文面には、財産の差し押さえを強制的に執行するなど不安をあおり、本人からの連絡を求める内容になっています。実際に書かれている電話番号に連絡すると弁護士などの紹介費用と称し、金銭を要求されるといった情報も寄せられています。

◆◆消費者へのアドバイス◆◆

- これは、詐欺の手口です。相手はハガキに反応して電話をかけてきた人を巧妙に誘導し、金銭を支払わせようとします。決して電話をしないでください。無視をすれば何も起こりません。
- それでも心配だ、という方は、お住まいの警察や消費生活センターへ早めにご相談ください。

◆◆参考情報◆◆

民事訴訟の手続きに関する書類は、特別送達で届きます。特別送達は必ず書留なので、普通郵便で送られてくることはありません。

～誘いに乗らない、申し込まないことが肝心～

- 消費者ホットライン ☎0570-064-370
- 旭川市消費生活センター☎0166-22-8228

すぐに消費生活センターに相談しましょう



◆投票日の投票所

投票所	投票場所	対象行政区
第1投票所	農村環境改善センター	1区～11区、26区、市街地
第2投票所	蘭留地域センター	20区～25区、蘭留町区
第3投票所	東園地域センター	12～19区

※投票所入場券・表面に記載していますので、ご確認ください。

◆期日前投票所  
投票日に投票へ行けない人は、期日前投票を行うことができます。

■期間 12月13日(水)～16日(土)

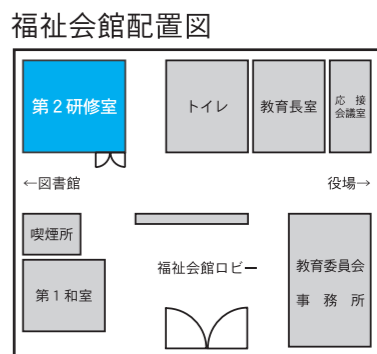
◆今回の比布町長選挙の場合  
満18歳以上で引き続き3か月以上、比布町に住居登録されている方です。

◆選挙権  
選挙権は、国民の最も重要な参政権であり、基本的な権利です。しかし、選挙権を持つためには、一定の条件があります。

12月17日は  
投票箱  
比布町長選挙の投票日です

任期満了に伴う比布町長選挙を12月17日(日)に行います。  
比布町の将来を考え、大切なあなたの一票を無駄にしないよう投票しましょう。  
なお、投票所は左記のとおりです。

- 告示日 12月12日(火)
- 投票日 12月17日(日)
- 投票時間 午前7時～午後8時



■時間 午前8時30分～午後8時  
■場所 福祉会館第2研修室(1階)

なお、期日前投票にお越しの際は、投票所入場券をご持参ください。  
忘れた場合は、免許証・保険証などで本人確認をさせていただきます。  
また、事前に裏面に氏名などを記載いただきますよう、お願いします。



◆不在者投票  
①投票日に長期出張や出稼ぎのため比布町にいない場合、出先の市町村で投票ができます。この場合、告示前でも比布町選挙管理委員会に、直接または郵便等で投票用紙など必要な書類を請求できます。(FAXなどの請求も可能です。)その後、交付された投票用紙などを持参して、投票する市町村区の選挙管理委員会に出向き、投票を行ってください。  
②指定された病院(施設)に入院(所)している人は、病院(施設)で投票できます。  
③身体に重度の障がいのある人や介護保険の要介護状態区分が要介護5の認定を受けている人は、申請により自宅での投票ができます。  
なお、身体に障がいがある方は、代理記載の方法による投票を行うことができます。

◆問い合わせ◆  
町選挙管理委員会(役場総務企画課)  
☎85-2111  
☎85-2389

きたよん通信

開催しました  
手話奉仕員養成講座(入門)



6月から開講した手話奉仕員養成講座(入門)が10月31日をもって修了しました。5か月間に渡る講座の中では、日常生活に必要な手話表現などを楽しく学び、聞こえない人がいることへの理解が大切であることを知るきっかけにもなりました。



感じた」との感想をいただきました。手話は心を表し、人と人との確かなふれあいがあり、また表情も豊かにする意味深いものです。手話を使うことは難しいと思われがちですが、筆談や身振り、空書きなどを使いながらも、大切なことは、自分から「伝えたい」と思う気持ちです。

3月まで月1回、手話学習会を始めています。4町にお住まいの方で興味のある方は、きたよんまでご連絡ください。楽しく学びましょう。  
障がいの有無にかかわらず、だれもが地域で安心して暮らしていけるように取り組んでいきたいと考えていますので、ご意見をお寄せください。

また、このような講座や研修会など企画していく予定ですので、機会がありましたら、ぜひご参加ください。

●上川中部基幹相談支援センター「きたよん」(当麻町役場内) ☎84-7111



# 情報満載

比布町役場 (代表)	85-2111
総務企画課	85-4801
まちづくり推進室	85-4802
税務住民課	85-4803
保健福祉課	85-4804
地域包括支援センター	85-2112
産業振興課	85-4806
建設課	85-4807
議会事務局	85-4808
農業委員会	85-4809
比布町教育委員会	85-2262
図書館	85-3354
体育館・改善センター	85-2513
保健センター	85-2555
農業対策室	85-4011
グリーンパークびっぷ	85-2383
遊湯びっぷ	85-4700

## わが家のアイドル



うえだ せいちゃん  
上田 星

達哉さん・由香梨さんの次女  
(3歳4か月・緑町)

星(せい)です!食べることが大好きで、変顔とお歌が得意です。みんな、見かけたら声をかけてね😊

みなさんのご家庭のかわいいアイドルをご紹介ください。最近の写真とコメントを添えて、役場総務企画課広報係にお寄せください。写真はカラー・白黒を問わず、Eメールでの投稿もお待ちしております。宛先は裏表紙をご覧ください。

期限内に提出を  
法定調査書の提出は  
平成30年1月31日までです

主な法定調査書の提出先は、次のとおりです。  
法定調査書の作成、提出にあたっては、「給与所得の源泉徴収票等の法定調査書の作成と提出の手引」をご覧ください。

主な法定調査書	提出先
・給与所得の源泉徴収票 ・退職所得の源泉徴収票 ・不動産の使用料等の支払調書 ・その他の法定調査書	所轄 税務署長
・給与支払報告書(個人別明細書)	市町村長

■問い合わせ  
旭川東税務署  
☎23・6291  
役場税務住民課税務係

お知らせ  
農業委員会だより

次の議案が審議され、承認されました。  
第3回総会(9月25日開催)  
◎農地法第5条の規定による許可申請  
1件 895・86㎡  
◎農用地利用集積計画の決定  
4件 97、838㎡  
第4回総会(10月23日開催)  
◎農用地利用集積計画の決定  
3件 47、118㎡

利用申し込み  
1月の農産加工室申し込み

来月1月4日から31日までの間に、改善センター農産加工室の利用を希望する方は、5人以上のグループで、加工品目と数量をまとめてお申し込みください。  
■締切 12月11日(月)  
■抽選会 12月18日(月) 午前9時30分から福祉会館



■問い合わせ  
役場産業振興課特産振興係

参加者募集中!  
町民スキー・スノーボード教室

教育委員会では、比布スキー学校などの先生のレッスンを受けることができます。町民スキー・スノーボード教室の参加者を募集しています。クラス別のレッスンで安心して受講できます。1日だけの参加もできますので、大人の方もぜひご参加ください。

■対象  
【スキーコース】小学1年生以上の町民  
【スノーボードコース】小学4年生以上の町民  
■参加料 ■無料  
■申込期限 12月15日(金)



(小・中学生は各学校に、一般の方は教育委員会にお申し込みください)  
■日時 平成30年1月4日(木) 6日(土)、午後1時~3時  
■場所 びっぷスキー場  
■問い合わせ  
教育委員会スポーツ振興係

新成人のみなさんへ  
比布町成人式を挙行します

■日時 平成30年1月7日(日) 午後1時30分  
■場所 農村環境改善センター  
■対象者 町内に在住する平成9年4月2日から平成10年4月1日までに出生された方  
※町外に転出した方も出席で



きまますので、お申し込みください。  
■問い合わせ  
教育委員会社会教育係

リサイクルにご協力を  
使用済小型家電を  
無料回収しています

小型家電には貴重な資源が含まれています。ごみの減量と資源の有効活用により、みなさんのご協力をお願いします。  
■設置場所 役場玄関ホール階段下にある回収ボックスに入れてください。  
※従来どおり、ごみステーションにも出せますが、その場合はごみ証紙が必要(有料)で、ごみとして処理されます。



■問い合わせ  
役場保健福祉課衛生係

戸籍のまど  
(11月15日までの届出)

◆誕生おめでとう◆  
(あかちゃん・行政区・保護者)

合田 隼人くん (17区)  
正人さん・みなみさん  
大田 楷己くん (北町)  
直樹さん・章恵さん  
吉本 麗叶ちゃん (寿町)  
宏大人さん・絵理さん  
高野 椋介くん (寿町)  
直人さん・麻衣子さん

◆お悔やみ申し上げます◆  
(氏名・享年・行政区)

高森 光芳さん (4区) 70歳  
穴戸 ナオヨさん (蘭留町) 90歳  
宮武 タカさん (25区) 92歳  
竹林 廣志さん (新町) 91歳  
水野 フクさん (寿町) 91歳

## 年末調整や確定申告には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を



### 国民年金保険料は社会保険料控除の対象

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税の社会保険料控除の対象となります。

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、毎年1月1日から12月31日までの間に納付(納付見込みを含む)した国民年金保険料の額を証明する書類の添付等が必要です。

### 11月上旬に送付されています

生命保険会社等が発行する控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が日本年金機構本部からすでに送付されています。

証明内容は、本年1月から10月2日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

### 2月上旬に送付される場合

年の途中から国民年金に加入した場合などは、10月3日から12月31日までの間に、今年初めて保険料を納付された方は、翌年2月上旬に同様の証明書が送付されます。

控除証明書に関する問い合わせには年金事務所のほか  
ねんきん加入者ダイヤルを設置しています

☎0570-003-004

※050から始まる電話番号からおかけになる場合は ☎03-6630-2525

【受付時間】 ○月~金曜日 午前8時30分~午後7時  
○第2土曜日 午前9時00分~午後5時

なお、祝日(第2土曜日を除く)、12月29日~1月3日はご利用いただけません。

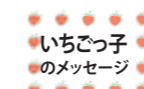
☆☆ 詳しくは、下記窓口にお問い合わせください ☆☆

■ 問い合わせ ■ 役場税務住民課戸籍年金係  
■ 旭川年金事務所 ☎27-1611 ■

### まちの人口 (10月末現在)

総数 3,802人 (-2)  
男 1,785人 (+1)  
女 2,017人 (-3)  
世帯数 1,834世帯 (-1)

※住民基本台帳登録数  
( ) は対前月増減数



うてのいい大工になって、住む人が安心して住めるような家を作りたい。  
テーマ「夢-わたしが大人になったとき-」 比布町立中央小学校 六年 名前 藤本 哲己



広報

# ぴっぷ

1月号は12月27日発行予定です

ストップ・ザ・交通事故死

～めがせ 安全で安心な北海道～

身につけよう 命のお守り 反射材

(交通安全スローガン 平成29年度 内閣総理大臣賞)



## 12月の行事予定

7(木) 第4回町議会定例会 ～8日(予定)

9:00 役場(議場)

9(土) としょかんクリスマス会

10:30 図書館

12(火) 比布町長選挙告示日

16(土) 子ども会クリスマスパーティー

13:00 福祉会館(大講堂)

全町ダブルス卓球大会

18:00 体育館

17(日) 比布町長選挙投票日

7:00～20:00 各投票所

町民バドミントン大会

9:00 体育館

18(月) 比布町長選挙当選証書付与式

11:00 役場(議場)

第6回農業委員会総会

15:00 役場(議場)

22(金) 小・中学校第2学期終業式

24(日) ぴっぷスキー場感謝デー

9:00 ぴっぷスキー場

25(月) 行政区長・農事組合長会議

9:00 福祉会館(大講堂)

ぶっくん寺子屋冬休み講座 ～27日

9:30 福祉会館ほか

29(金) 役場・教育委員会仕事納め

※変更になる場合がありますので、無線放送などにご留意ください。

【お詫言】  
広報ぴっぷ11月号の「まちある記フォトニュース」で紹介しました10月1日付の社会福祉協議会へ寄贈された車いすにつきまして、表現に誤りがありますので、訂正し、心よりお詫言申し上げます。  
なお、正しくは、町民のみなさまからの善意により寄せられたリングプルが700キ口に到達したため、車いすが寄贈されたものです。



翻訳家になって、色々な人に本を売ってみたい。  
テーマ「夢 - わたしが大人になったとき -」 比布町立中央小学校 6年 名前 古川 瑠乃



困っている人をいっつも助けてあげられる、スーパーヒーローになりたい!  
テーマ「夢 - わたしが大人になったとき -」 比布町立中央小学校 6年 名前 古川 瑠乃

### 申し込みのお知らせ

#### 自衛官募集案内

▼自衛官候補生(男女)  
■応募資格 ■日本国籍を有する18歳以上27歳未満の男女  
■受付期間 ■年間を通じて行っています。  
■試験日 ■平成30年1月12日(金)、13日(土)  
▼高等工科学校生徒(一般)  
■応募資格 ■日本国籍を有し、平成30年4月1日現在、中卒(見込含)17歳未満の男子  
■受付期間 ■平成30年1月9日(火)まで  
■試験日 ■【一次試験】平成30年1月20日(土)  
■問い合わせ ■

#### 12月10日～16日は 北朝鮮人権侵害問題啓発週間

12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。  
この機会に日本人拉致問題をはじめとして北朝鮮による人権侵害問題に対する関心を

#### 高めましょう。 問い合わせ ■

旭川中央警察署  
☎25・0110



#### あなたの体は大丈夫 特定健診を受診しましたか?

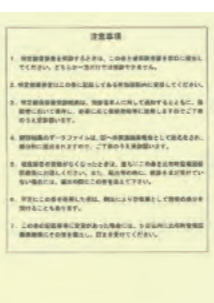
高血圧や糖尿病などの生活習慣病は、早期には自覚症状がありません。気づいた時には悪化しており、脳や心臓などの病気を引き起こすこともあります。  
年に一度は特定健診を受診して生活習慣病の心配がないか確認しましょう。  
来年3月末まで、町と契約している医療機関で個別健診を受けることができます。  
また、旭川がん検診センターでは、特定健診とあわせてがん検診を受診することができます。

■対象 ■40歳～74歳の国民健康保険加入者  
※40歳：年度末(平成30年3月31日)までに40歳の誕生日を迎えることができます。

を迎える方です。  
※74歳：健診受診時に74歳の方(75歳の誕生日を迎える前日まで)

■実施期間 ■平成30年3月31日まで  
■健診機関 ■比布町契約医療機関(詳しくはお問い合わせください)  
■自己負担 ■1,000円(国民健康保険証をご持参ください)

■その他 ■比布町契約医療機関に事前に予約の上、受診してください。  
また、受診の際は特定健康診査受診券(5月に配布したレモン色の券)が必要です。紛失した場合は再発行します。



■問い合わせ ■ 役場保健福祉課国保医療係 保健センター



#### 問い合わせ ■

役場総務企画課生活安全係



■ご参加ください  
こころのピアサポートフォーラム2017  
■日時 ■12月16日(土) 午後1時30分～午後3時30分  
■場所 ■旭川市障害者福祉センターおびつた 会議室1

(旭川市宮前1条3丁目3番7号)  
■内容 ■『ひきこもり』てなあーに?』  
▼第一部「知ろう!当事者の話・当事者の話」  
▼第二部「かたろう!つながろう!グループになろう!」  
■参加費 ■500円  
■申込締切 ■12月6日(水)(当日参加も可能です)  
■問い合わせ・申し込み ■旭川市障害者総合相談支援センターあそーと  
☎73・5936



翻訳家になって、色々な人に本を売ってみたい。  
テーマ「夢 - わたしが大人になったとき -」 比布町立中央小学校 6年 名前 古川 瑠乃



困っている人をいっつも助けてあげられる、スーパーヒーローになりたい!  
テーマ「夢 - わたしが大人になったとき -」 比布町立中央小学校 6年 名前 古川 瑠乃



# ヒーロー みんなが ヒロイン HEROINE

※○内の数字は順位（敬称略）  
町内関係者のみ

このコーナーでは、スポーツや文化活動などの話題を紹介します。みなさんからの情報をお待ちしています。新聞などに掲載された情報も掲載しています。

- ◆平成29年度旭川卓球大会  
（10月15日・旭川市）  
【小学生男子】②山田蓮
- ◆第8回集まれ秋のちびっ子  
野球大会（10月15日・旭川市）  
②比布野球少年団



- ◆ラストコールパークゴルフ  
大会（10月19日・百年記念公園）  
【男性】①大古場秀雄②高橋  
勝寛③菅原悟
- 【女性】①野口弘子②水内順

子③尾崎誠子

- ◆第26回でんすけカップ北  
北海道中学生卓球当麻大会  
（10月28日・当麻町）  
【女子】▽個人①有岡紗希③  
三浦鈴花

- ◆第34回上川管内町職員9  
人制バレーボール大会  
（10月28・29日・中富良野町）  
【二部】①比布町役場A③比  
布町役場B

- ◆第27回少年剣道東川大会  
（11月3日・東川町）  
【個人】▽小学生低学年③小  
菅生竜摩  
▽小学生高学年③小菅生莉子

- ◆第33回中学校選抜卓球大会  
（11月3日・旭川市）  
【団体】▽一部女子③比布中  
学校

- ◆今井杯第24回北北海道少年  
少女卓球大会（11月4日・土別市）

【中学生女子】▽個人①有岡  
紗希

- ◆第14回ルーセント杯全道小  
学生ソフトテニスインドア大  
会（11月4日・厚真町）  
【4年以下男子】②大石陽斗・  
長尾健吾

- ◆第4回全道町村職員等親善  
交流剣道大会（11月4日・札幌市）  
【団体戦B級の部】③上川中  
央（木村和真・中澤卓馬・寒  
河江卓・小菅生竜夫）

- ◆第9回上川管内剣道段別練  
成大会（11月5日・旭川市）  
【個人】▽3段以下①木村和  
真

- ◆第41回近隣町中学生新人卓  
球大会（11月5日・町体育館）  
【男子】▽団体③比布中学校  
▽個人①中谷光希②山田蓮  
【女子】▽団体②比布中学校  
▽個人①有岡紗希②三浦鈴花

- ◆平成29年度比布町防犯剣道  
大会（11月14日・青少年会館）  
【個人】▽初心者①畠山  
仁②宮田零月③堺彪真  
▽小学2・5年生の部①小菅  
生竜摩②漆戸駿③寒河江朔丸  
▽小学6年生の部①小菅生莉  
子②寒河江思子③宮田花連  
▽中学生の部①久保田颯②土  
屋美沙希③堺七虹



- ◆2017ミニバレー大会  
（11月19日・町体育館）  
【女子】①ポピー②キュー  
ティーハニー③なでしこフ  
ィターズ

- 【混成ベテラン】①エステ  
イマ②AZワゴン  
【混成ビギナー】①三十路ボ  
ンバYeah!②I♡RAN  
RU

- ◆第44回比布町長旗・教育長  
旗上川管内町剣道大会  
（11月23日・町体育館）  
【団体】▽小学生①比布町A

- ◆第9回税に関する絵はがき  
コンクール  
【優秀賞】松浦琉夏



（山地蓮、寒河江思子、小菅生竜摩、小菅生莉子、宮田花連）  
▽中学生③比布町（堺七虹、久保田夏生、久保田颯、土屋美沙希、門脇摩皇）  
▽一般③比布町A（高橋玄、木村和真、寒河江卓、中澤卓馬、中野護）

## スポーツ功労賞・奨励賞に 佐藤直一さん・平岡稜真さん・堺七虹さん

町体育協会では、町内のスポーツ振興に貢献した個人や団体に対して表彰を行っています。

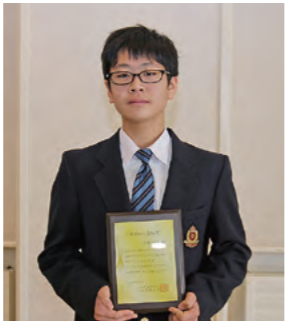
今年のスポーツ功労賞には佐藤直一さん（北町）、スポーツ奨励賞には、比布中学校3年の平岡稜真さんと同校1年の堺七虹さんが選ばれました。

佐藤さんは、比布スキースポーツ少年団指導者代表を22年間の長きに渡り務められるなど、団員の育成や技術向上に大きく貢献されました。



平岡さんは、毎日遅くまで卓球の練習に励み、今年8月に大分県で開かれた「第48回全国中学校卓球大会」に出場

するなどの活躍が認められての受賞。



するなどの活躍が認められての受賞。



堺さんは、町剣道スポーツ少年団で切磋琢磨しながら稽古に励み、今年3月に茨城県で開かれた「文部科学大臣杯第58回全国選抜少年剣道錬成大会」に出場するなどの活躍が認められての受賞となりました。

## ひろがり文庫が 優良読書グループ表彰を受賞

今年度の優良読書グループ表彰（北海道表彰）に、絵本の読み聞かせ会 ひろがり文庫（代表 安藤裕子さん）が選ばれました。

ひろがり文庫は、町内に絵本の楽しさを広めることを目的に、昭和60年に発足し、現在は会員13人で活動しています。これまで小学校やくる

み保育園、図書館などで絵本の読み聞かせを行うなどのボランティア活動の功績が認められての受賞となりました。



表彰状を手にする安藤さん（右）と今井さん

## 佐藤直一さん（北町）が 日赤功労者特別表彰を受賞

今年度、日本赤十字社創立140周年を記念し、社業の推進に貢献のあった方を対象とした社業功労者特別表彰が行われ、本町の佐藤直一さんが選ばれました。佐藤さんは、比布町スキーパトロール赤十字奉仕団の委員長として20年以上務めら



れるなど、赤十字活動への協力が特に顕著であった功績が認められての受賞となりました。なお同日、日赤北海道支部からも功労者特別表彰の伝達が行われました。

## 磯部俊明さん（南町）が 子ども会育成連絡協議会表彰を受賞

今年度の上川地区地域子ども会育成連絡協議会表彰に、磯部俊明さんが選ばれました。

磯部さんは、平成14年から子ども会育成員として活躍。比布町子ども会育成員連絡協議会会長や上川地区地域子ども会育成連絡協議会の理事に



就任するなど、子ども会の先頭に立ち活動されてきました。現在も地域の子どもの会での行事や企画・立案をして地域活動を行うなどの功績が認められての受賞となりました。



まちの話題や情報など、身近なニュースを広報係にお知らせください。



**10.23** おぼけの形でハロウィンカレー

◆ ◆ ◆

▼小学生を対象に町教委がカレー、カボチャクッキー作りを開催。完成後にはボランティアの方々と一緒に楽しくいただきました。



**10.22** みんなが主役 中央小学校学芸会

▼中央小学校で学芸会を開催。いちごっ子146人が劇や音楽を披露。児童たちの熱演に会場から大きな拍手や声援が送られました。



**11.15** 子どもたちのためにコミュニティ・スクール

◆ ◆ ◆

▼コミュニティ・スクールマイスターである京都光華女子大学准教授の西孝一郎氏を講師に迎え、先進地事例を交えて研修しました。



**11.3** 初めてのイベント ママフェスinびっぶ

◆ ◆ ◆

▼ママの働き方応援隊びっぶ校による初イベント。はいはいよちよちレースや親子deファッションショーなどで盛り上がりました。



**11.19** さわやかな汗をミニバレー大会

◆ ◆ ◆

▼びっぶスポーツクラブ主催のミニバレーボール大会を開催。9チーム、38人が参加し、運動不足解消とさわやかな汗を流しました。



**11.16** 「コーヒー・カフェオレ」で笑顔の体操

◆ ◆ ◆

▼元STVアナウンサーの喜瀬ひろしさんが、「声は人なり」と題し、親の介護の話や笑顔の体操など、健康法について語りました。

Happy Bridal in Pippu.



photo : Kobayashi Mayuko

## 求人募集

町内事業所の求人募集情報をお知らせします。求人募集情報は町図書館玄関、農村環境改善センターロビー、比布駅、くるみ保育園、旭川信金比布支店で掲示しています。

■株式会社 コタニ工業  
基線4号 ☎54-1555  
□事務員  
内容 / 一般事務 (パートタイム)  
勤務 / 9:00 ~ 15:00 ※土日祝日休  
資格 / 事務経験者、パソコン操作ができる方  
時給 / 810円  
□ガレージ・カーポートの営業  
内容 / ガレージ見積・作業管理  
勤務 / 8:00 ~ 17:30  
資格 / 普通自動車免許  
給与 / 20万 ~ 38万円  
□鉄骨建築作業員  
内容 / 鉄骨建築、ガレージ・カーポート製作組立  
勤務 / 8:00 ~ 17:30  
資格 / 普通自動車免許  
給与 / 18万 ~ 35万円

■株式会社 LEOC  
旭川市9条通15丁目北商ビル3階 ☎21-3616  
□調理スタッフ  
内容 / 食事の調理、提供など  
勤務 / 6:00 ~ 15:00、9:45 ~ 18:45、7:30 ~ 16:30 (シフト制)  
勤務先 / びっぶクリニック内厨房 (中町1丁目2-10)  
時給 / 850円  
■ホクレン比布セルフ給油所  
比布町基線5号 ☎85-3113  
□ガソリンスタンドスタッフ  
内容 / 接客・給油監視・タイヤ交換などの軽整備  
勤務 / 夏は7:00 ~ 20:00、冬は8:00 ~ 20:00 (シフト制)  
資格 / 普通免許  
時給 / 810円 ~ (経験など考慮)

■高齢者事業団  
中町1丁目1-5 ☎85-2050  
□会員  
内容 / 清掃業務、農作業全般作業員  
場所 / 町内  
勤務 / 8:00 ~ 17:00  
資格 / おおむね60歳以上  
時給 / 業務によって異なります。



**びっぶ町ブライダル大作戦**

比布町では今年6月から結婚情報誌「ゼクシイ」と連携した新サービス「びっぶ町ブライダル大作戦」を実施しています。

この事業は、比布町オリジナル婚約届を町役場に提出した夫婦に無料で記念写真と町内のレストランや観光施設で利用できるクーポン券をプレゼントするという試みです。婚約届の提出や結婚記念の写真を撮影するという人生の一大イベントを比布町で行うことで、比布町が二人にとって大切な思い出の地となり、その後も観光やレジャーで訪れ、いずれば比布町に移り住んでもらいたいという思いで役場の若手職員が考案しました。

撮影に使用するドレスやタキシード、ブーケ、花冠などを無料で貸し出しているほか、町内在住のプロカメラマン・蘭林写真舎合同会社代表の小林蘭子さんが撮影を担当するなど、本格的な環境で撮影ができるのが魅力。撮影場所は、比布町内の自然あふれる撮影スポットなど。終始笑顔に包まれる和やかなムードの中で撮影しています。現在4組のカップルが撮影。ほとんどが町外の方ですが、もちろん町内の方も大歓迎です。今後結婚を考えているみなさん、ぜひ、この町で一生涯の思い出を作りませんか。

■問い合わせ ■総務企画課まちづくり推進室 ■ ☎85・4802





PIPPU LOVERS

vol.2

イラストレーター  
たかのみな  
**高野美奈**さん  
【比布町内・9区在住】

# いい人 見つけた

素敵な笑顔とヘアースタイルがトレードマークの高野美奈さんは、この町自慢のイラストレーター。生まれも育ちも比布町です。高校卒業後、札幌の美術専門学校で2年間グラフィックデザインを学び、卒業後は上京してデザイン会社に就職。グラフィックデザイナーに加え、イラストレーターとして働くなど二足のわらじを履いていますが、絵を描くことに人生を捧げたいとの揺るぎない思いから、イラストレーターとしての道を歩むことを決意しました。当時のことを「イラストレーターになれば、最初から



高野さんのイラストはなんといっても、独特かつ温かみのあるタッチが魅力とあってとても好評。町内から望む大雪山連峰の風景を描いたこの作品は、比布町観光パンフレットの表紙としても使用されている



ピピカフェ比布駅のシャッターの絵は高野さんの作品



町教委主催の絵画教室で子どもにスケッチを教える高野さん

イラストレーター「美奈」として活動しています！

最後まで全て自分で作れる。自分の絵が加工されることなく、見る人までそのまま届けられるというところに強く惹かれました」と笑顔で振り返る高野さん。イラストレーター転身後は、東京を拠点に企業の広告やポスター、大手鉄道会社の社内報の表紙、雑誌や書籍の挿絵など、これまで多種多様なシーンのイラストを手がけ、活躍されてきました。その後、平成23年に生まれ育った比布町へと帰郷し、活動を続けています。

「この町の自然風景は美しい。四季の色が体に染み込んでくるようなこの感覚は都会では味わえません」と語る高野さん。現在、子ども対象のスケッチ教室や、町民向けのイラストレーター講座、町主催の大雪山絵画グランプリで審査員を務めるなど、絵を描くことの楽しさや絵を通じて比布町の魅力、自然の美しさを多くの人に広める活動にも情熱を注いでいます。

「これからもみんなの期待に応えられるような絵を描きたいです」。今後も高野さんの活躍から目が離せません。

広報びっぴ 12月号 No.711  
2017(平成29)年12月6日

- 発行 比布町
- 編集 総務企画課まちづくり推進室広報係  
〒078-0392  
北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号  
☎0166-85-2111(代表)  
0166-85-4801・4802(総務企画課直通)
- ホームページ  
<http://www.town.pippu.hokkaido.jp>



## ■表紙のことば■

11月5日、町内石狩川に架かる栄園橋付近で、あさひかわサケの会によるサケの遡上調査が行われました。晩秋を迎えると、数年前に比布町で生まれ、広い海でたくましく成長したサケたちが、産卵のために再びこの町に帰ってきます。本号では、命を懸けてふるさとに帰ってくるサケの秘密に迫ります。